

START Box ササハタハツ

「アトリエツアー」 「アーティスト交流会」 開催！

寒さが段々と訪れ、秋の深まりを感じる 11月14日(火)、START Box ササハタハツでは「アトリエツアー」「アーティスト交流会」が開催されました。

会場：START Box ササハタハツ (幡ヶ谷アトリエ、笹塚アトリエ)

実施日：2023年11月14日(火) ツアー 16:30～18:00 交流会 18:15～19:15

ツアー 参加者：4名 (予約者限定)

交流会 参加者：START Box ササハタハツ 利用アーティスト6名

<アトリエツアー>

利用中の各アトリエをアーティストと共に回るツアー。各アトリエでは、アーティストから作品やコンセプトについて解説を行っていただきました。参加者からは活発に質問が飛び、作品を制作している本人と一緒に回っていくツアーならではの光景がみられました。

○参加者の声

「作品だけでなくアトリエも観られることが面白い」
「それぞれの個性がでた作風で、それを一度の機会で見られるのが楽しかった」



<アーティスト交流会>

利用アーティストのみで開催されました。

絵画、写真、メディアアートと様々なジャンルのアーティストが利用している本アトリエ。自己紹介から始まった会は、作品や活動について多様な視点の感想が共有され、アーティストならではの交流が行われました。



アトリエツアー開催！

予約定員あり！
(先着10名まで)

【開催情報】

令和5年 **11月14日(火)**

16:30~18:00

※終了時間はツアー状況により多少前後する可能性があります。

START Boxササハタハツを利用して
いる、絵画、写真、メディアアートな
ど様々なジャンルのアーティストとア
トリエを巡ります。
アーティストと交流できる貴重な機会
ですので、ぜひご参加ください。

(c) Yujiro Ichioka, TAM Inc.

参加無料・要予約

○予約方法

専用予約フォームより、必要事項を記入
の上、ご予約ください。

[予約締切：11月13日(月)]

予約フォーム：<https://business.form-mailer.jp/fms/622a34c0217456>

予約フォーム



START Box ササハタハツ

水道道路沿いにある笹塚・幡ヶ谷の都営住
宅の空き店舗（6区画）をアトリエ等に整
備し、若手アーティストに提供することで
継続的な創作活動を支援する事業です。

公式ウェブサイト



※悪天候等により、開催を見送る場合がございます。
最新情報は公式X(旧Twitter)にてお知らせします。

X(旧Twitter)



【主催】東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【問合せ先】公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課

Tel: 03-6256-8853(平日10:00~18:00) E-mail: rekibun_promo@rekibun.or.jp

笹塚

大原 崇嘉 (おおはら たかよし)

1986年神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院映像学科メディア映像専攻修了。色彩や構成、人間の奥行き知覚の考察をベースとした視覚表現など。2017年からはアーティスト・コレクティブのヨフのメンバーとしても活動している。

【受賞歴】第67回カンヌ国際映画祭〈短編コンペティション部門ノミネート〉。第24回 文化庁メディア芸術祭〈アート部門審査委員会推薦作品〉



「Gazes」(2023)
素材：ディスプレイ、3Dセンサー、PC
Photo: Shunta Inoguchi

高橋 真美 (たかはし まみ)

東京都出身。日本大学芸術学部デザイン学科卒業。営業職や起業家コミュニティでの仕事を経て2022年よりフリー。グラフィックデザイナーとしてのエディトリアルな視点を持ちつつ、記録・保存と写真との関係性をテーマにする作品を公開している。また、制作プロセスの共有による他者との関係性を模索、ワークショップも実践中。



上：「ある危機言語のための写真的実践」(2023)
左下：サイアノタイプワークショップ (2023) PHaT PHOTO SCHOOLにて実施
右下：「果樹を架ける」(2023)

滝本 優美 (たきもと ゆみ)

1992年東京都生まれ。武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース修了。「絵の具を描く」アーティスト。ペインティングナイフを握り、クリームを塗る行為のように絵の具をのせていく。キャンバスの枠を超え、はみ出し、決められたキワを無くしていく。建築物やコンクリートのパッチワークのように、まるでそれだけで自立をしているように建つ。かたちや色から想起され、何かに見えるがただそこには絵の具という物質が存在している。2024年6月Gallery Qにて個展開催予定。



「between」(2023)
キャンバス、油絵具 910×910mm

幡ヶ谷

西村 祐馬 (にしむら ゆうま)

1995年生まれ。日本大学芸術学部デザイン学科卒業。ビジュアルアーティスト、写真家。個人の存在を未来まで遺すことをコンセプトに制作を続ける。これまでに「KG+SELECT 2023」ファイナリスト、「TOKYO FRONTLINE PHOTO AWARD 2022」審査員個人賞、Art Fair Beppu 2023など。



「Touched (Skin)」
Artwork: Yuma Nishimura
Archival Pigment Print on leather

松本 千明 (まつもと ちあき)

岡山県笠岡市生まれ。多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業後、広告制作会社、デザイン事務所を経て2018年に独立。グラフィックを中心にデザイン、ディレクション、大理石をモチーフにした作品制作を行っている。主な展覧会に、2021年『MARBLE is』(大倉精神文化研究所)、2023年『Transformation』(株式会社白水社)がある。



「ROOM_#008」(2023)
木製パネル、アクリル絵具、その他 364×515mm

三澤 亮介 (みさわ りょうすけ)

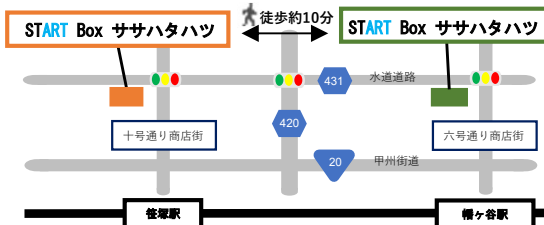
1992年福井県生まれ。立教大学映像身体学科卒業後、写真家を経て2020年より現代アーティストの活動を本格化させた。映像や写真を自身のバックグラウンドに持ち、その多角的な視点を平面作品に凝縮させる。主な個展に、「NOH」(HOFA Gallery、ギリシャ、2023)、「Project the Process」(AUGHT Gallery、ニューヨーク、2023)、「Tracing the night」(333Gallery、台北、2022)、「CUT!」(MEDEL Gallery SHU、東京、2022)、「SUDDEN」(銀座 蔦屋書店、東京、2021)など。



「Trois」(2021)
インクジェット印刷、アクリルマウント



渋谷区
コミュニティコイン
「ハチポ」
がもらえる!



笹塚

渋谷区笹塚2丁目42番
都営笹塚2丁目アパート 42-15号棟1階
京王線「笹塚駅」徒歩約6分

幡ヶ谷

渋谷区幡ヶ谷2丁目52番
都営幡ヶ谷2丁目第2アパート 52-1号棟1階
京王新線「幡ヶ谷駅」徒歩約7分

※両スペースとも駐車場・駐輪場はありません。